

台風19号 各地での支援活動のご報告と募金のお願い

グリーンコープ共同体

15都県に及ぶ広範囲に甚大な被害をもたらした台風19号は、グリーンコープの産直生産者やお取引先工場にも甚大な被害をもたらしました。

10月14日～1月11日までに集まった支援募金は約4,800万円と、たくさんのご協力をいただいています。本当にありがとうございます。またお取引先の皆さまからも100万円を超える支援金をいただいています。皆さまから寄せられた支援募金は被害を受けた生産者やお取引先、そして被災された皆さんへの支援に活用させていただきます。

被害は甚大で、継続した支援が必要です。引き続き、災害支援募金へのご協力をお願いします。

宮城県で台風19号被害を受けられたお取引先及び関係団体へグリーンコープ連合会商品検討委員会の伊達委員長が1月7日に訪問し、組合員からの義援金をお届けしました。

宮城県石巻市

<株式会社 まるたか水産>



工場1Fが1.5メートル程水没
機器も水没してしまいました。

株式会社まるたか水産は、東日本大震災前から塩蔵ワカメのお取引先です。東日本大震災でも大きな被害を受けられましたが、台風19号では津波対策で設けられた防潮堤で雨水の排水ができず工場は1.5m位水没。これから牡蠣等の出荷という時の被害でしたが、復旧に向けて冷凍・冷蔵庫、製造機器等の交換を進めながら営業再開されていました。また、津波だけを考えた防潮堤の改善が必要であり、市に改善要請しているとのことでした。

宮城県牡鹿郡女川町

<株式会社 遠藤水産>



工場1Fが1.5m位水没して
しました。

遠藤水産は、東日本大震災支援時に出会い、カラスカレイ味噌煮のお取引先です。台風19号では、工場が1.5m位水没し、冷凍冷蔵庫、加工機器、製品原料等が使えなくなりました。原因は、記録的な大雨、東日本大震災での地盤沈下、津波対策で出来た防潮堤の関係で雨水が溜まり易い状況になっていたことが原因になっていました。現在、機器設備の復旧を終え通常に戻って営業再開されています。

宮城県牡鹿郡女川町

<株式会社 サンスイ>



工場全体が浸水し、機器も浸水して
しまいました。

株式会社サンスイは、東日本大震災支援時に出会い、ヒラメのフィレやカラスカレイ切身のお取引先です。これも東日本大震災の影響で地盤沈下しており、記録的な大雨で工場が浸水し、施設や加工機器が使えなくなりました。現在は、復旧を終え営業再開されています。

台風19号災害支援募金

専用申込書に印字しています。数量(口数)を記入ください。
【例】一口200円を数量欄に「2」と申し込まれた場合400円のカンパとして受け付けさせていただきます。

申込
番号

010 一口200円

011 一口500円



左から

株式会社サンスイ：阿部代表取締役

まるたか水産株式会社：高橋代表取締役

グリーンコープ：伊達委員長(商品検討委員長)

株式会社遠藤水産：遠藤部長

遠藤水産の加工対応の長栄水産株式会社：矢口代表取締役

<東日本大震災の被災地でも台風19号、台風21号の被害が発生しています。早期復興が東日本大震災の被災地を応援することに繋がります。>

宮城県牡鹿郡女川町：

コミュニティスペースうみねこ

宮城県石巻市：蛤浜



東日本大震災の支援活動で出会い、物資支援、瓦礫撤去、牡蠣の養殖の再開と一緒に進め、浜の復興支援を行ってきました。

東日本大震災で地盤沈下したところに防潮堤が設置されており、今回の台風19号では、山からの雨水がこの防潮堤に溜まって排水できなくなり、浜の倉庫が水没し、資材、機器なども水没しています。

現在は、片付けが終わり、通常業務に戻っていますが、牡蠣の殻は育っているが、中身が小さく育っていない状況が続いており、出荷量は例年の半分以下とのことでした。東日本大震災後、海の状況が変化しており、更にも今回のような大雨で環境が変わってきていることで、今後の心配をされていました。

東日本大震災の支援活動で出会い、物資支援、居場所運営支援を行ってきました。

津波の被害を受けながら生き残ったイチジクの木の生命力の凄さを見て、浜でイチジク栽培を始められ、栽培支援を行っていました。

今回の台風19号の大雨と風で収穫前のイチジクの実が腐れてしまい、居場所運営の基幹商品のイチジクが収穫できず、大きな影響が出ています。

高齢者の居場所、仕事作り及び若い方の就労支援として、今期はイチジクの葉茶に力を入れています。グリーンコープでも販売支援を行っていきます。

～引き続き支援を行っていきます～

<産直りんご生産者グループ「ハケタ会」・「信濃五岳会」>

「ハケタ会」では17名中10名が決壊した千曲川流域（赤沼地域：新幹線が冠水した地域です）に住んでおられます。家屋・りんご園・倉庫・農機具全てが浸水してしまいました。「信濃五岳会」は、決壊した地域と反対側の地域のため家屋や農機具への被害は免れましたが、千曲川沿いにあった生産者の園地（りんご・桃・ネクタリンなど）は全て浸水しました。

<ハケタ会の生産者へ物資のお届け>

これまでグリーンコープ組合員カンパ金から4回支援物資を被災地の長野に届けました。食べものなどの物資は被災された地域の方にもお配りしています。ハケタ会の生産者には、生活を復旧する上で必要な家電などの物資もお届けしています。



<支援作業を開始しています。>

1月14日から支援メンバーが現地へ行き、支援作業を開始しました。

畑の土砂出しも少しずつではありますが、進んでいます。引き続き、生産者に寄り添った支援を続けていきます。

QRコードをスマートフォンのバーコードリーダー等のアプリを使って読み込んでください。グリーンコープ災害支援の内容はInstagram「災害支援 by グリーンコープ」にて日々配信しております。

